

遠野支署で、「遠野地区高校生企業見学会」を実施しました

令和3年12月8日、遠野高等学校1年生13名と引率の先生2名が遠野支署に訪問され、職場見学会を実施しました。

この見学会は、遠野市内の高校1年生を対象に、地元企業の理解を深めるとともに働くことへの意識と職業観の醸成を図り、今後の進路選択の一助とすることを目的に遠野市が主催しているものです。

はじめに会議室で、山田支署長からは国有林野事業の紹介や遠野支署の取り組みに加え関連業界や公務員試験について、新井森林官からは森林官の業務や農政局に出向した際に経験にしたことについて、それぞれ自分の経歴や体験談を交えた講義が行われました。

説明に対して、真剣に耳を傾けメモをとる生徒たちの姿が印象的でした。



工藤総括森林整備官は、GISを利用した森林情報の管理は「かつては3K（危険・汚い・キツイ）といわれた林業ですが、現在はICTを活用したスマート林業を目指している」と強調し、林業に関心を持ってもらう作戦です。

ドローンを使って上空からの遠野市内をモニターに映し出したことが生徒たちの関心をひいたようです。



その後、御法川総括事務管理官が庁舎（執務室・支署長室・森林事務所）を案内した際は、掲示された写真や展示された木工品にとっても興味を持ったようです。

会議室に戻り、生徒からお礼のご挨拶をいただき、1時間の見学会があつという間に終了しました。

今の高校生は、あまり林業に関心がないのかな。と思い、少しでも支署の仕事を印象づけようと趣向を凝らして準備した見学会でしたが、とても真剣に講義を受ける生徒の姿勢に対し、講師たちの話にもだんだん熱が入っていくのが感じとれ、有意義な1時間となりました。

この見学会が、生徒たちの今後の学生生活や就職活動に少しでもお役になることを祈っております。

（報告：岩手南部森林管理署遠野支署 森林技術指導官 芦野 進）